

初心を忘れずこれからも。羽生を変える力になる!

羽生市議会議員

中島なおき



政務活動費の支出を全て公開!

羽生市議会議員の政務活動費

年額 **14万4,000円** (1か月1万2,000円)

平成30年度政務活動費の清算を終えました。号泣県議や埼玉県議会、富山市議会を代表するように、未だ地方議会議員の政務活動費の不正使用がメディア、世間を賑わせています。そんなことから、私自身の政務活動費の使途に疑念を持たれぬよう、その全てを包み隠すことなく公開します。私にやましいことは微塵もありません。以下ご確認ください。

研修参加費・交通費		金額
TRCセミナー 公共施設マネジメント(茗荷谷) 全国教育問題協議会シンポジウム(永田町)	5,000円 無料	9,372円 内交通費4,372円
広報費		
議会報告レポート64号～68号、70号印刷代 新聞折込代 ポスティングガソリン代	94,738円 32,360円 7,716円	134,814円
広聴費		
茶菓代 (11/10 中央公民館にて議会報告会)		940円
合計		145,126円

- 拙ブログ、市議会HPにすべての領収書が公開しています。ご確認ください。
- 平成30年度はその多くを議会レポートの作成、配布(広報費)に使いました。しかしながら、政務活動費年額14万4,000円では議会レポートの作成、配布のすべては賄えません。自己資金に加え、多くの方からお振込みいただいた浄財も有効に使わせていただきました。
- 14万4,000円を超えた分はもちろん自己負担です。政務活動費の使用は妥当な金額で収まるよう領収書を精査し、政治活動費と振り分けています。実際の議員活動には上記以外の勉強会への参加、議会報告紙、政治団体広報誌の作成、配布、行事参加費の会費など相当額を自己負担しております。

中島 直樹 略歴 S47年11月生まれ(46歳) 埼玉栄高校普通科 日本福祉教育専門学校社会教育学科 日本大学法学部政治経済学科卒 児童福祉施設 鴻巣市社会福祉協議会勤務を経て、H19年羽生市議会議員一般選挙に単身立候補し初当選 H26年5月話題づくりを最優先とした市政運営に異を唱え羽生市長選挙に立候補するも次点落選 H27年 R元年羽生市議会議員一般選挙に立候補 2期連続最上位当選 現在に至る

●NPO法人地方議会制度研究センター副代表理事 第2期若手政治家養成塾副代表 青年地方議員の会会員

新たな顔ぶれとなった羽生市議会で初めての議会

5月15日令和元年度 臨時市議会

地方自治法の規定より、何よりも優先されるのは正副議長の選出です。先例に倣い、本会議場にて選挙が行われました。結果は右記です。

議長 島村 勉
副議長 中島 直樹



副議長の役割について

議長は議会を代表する重要な地位にあることはご存じのとおりです。議場の秩序の保持や議事の整理、議会の事務処理を行います。議長が出張や疾病等で不在のときや、死亡や辞職等で欠けたときに議長の代わりを行うことが副議長の役割であり、議長を補佐するところが役割ではありません。

私、中島は前任期で2年7か月の間、副議長を務めさせていただきました。4月の改選により、新しくなった議員間の選挙において、再びご推挙を受け、副議長を務めさせていただきましたことになりました。

前任期後半の議会人事は、正副議長、議会選出監査とも7対7の同数から、くじ引きが行われ、役が決定しましたが、今回の臨時会では正副議長、監査ともくじ引きが行われることはありませんでした。

5月臨時会 10議案の上程予定が3議案を急遽取り下げ

上位法改正による市条例改正の専決処分承認を求め4議案と、低所得世帯や乳幼児のいる子育て世帯などに対して消費税率引き上げによる家計の負担や消費への影響を緩和する目的のプレミアム付き商品券発行事業のための一般会計補正予算案、羽生市体育館、中央公園へ指定管理者制度を導入を前提とし

新議長に島村氏 副議長は中島氏

羽生市議会

羽生市議会は15日、臨時議会を開き、新議長に島村勉氏(69)＝無所属、拓政会、副議長に中島直樹氏(46)＝無所属＝をそれぞれ選出した。島村氏は5期目。副議長、監査委員、都市民生委員長などを歴任。中島氏は4期目。副議長、総務文教委員長、都市民生委員長などを歴任。



令和元年5月16日 埼玉新聞2面

た3つの条例改正案、清掃センター焼却バグフィルター等の工事請負契約の締結についてなど10議案の上程が予定されていきました。

しかし、平成23年12月定例会において、羽生市体育館、中央公園への指定管理者導入は市議会でも否決されています。当時の状況を知らない議員が半数以上を占めるとともに、過去に否決された関連議案が常任委員会への付託を省略する臨時会での上程は到底理解できるものではありません。しかしながら、この議案が再

び否決されることは、私の思うところではありません。臨時会での上程は見送っていただき、6月定例会で上程し、総務文教委員会でもしっかり審査すべき旨を他の議員に強く訴えました。議案の上程取り下げについて、多くの議員にご賛同をいただきました。取り下げをいただけないのであれば、それは仕方ありません。否決に向け、働きかけを行うつもりでありましたが、議長と議会運営委員長が市役所執行部と上程前に折衝。3議案は上程せず、取り下げられました。

市議会議員として11年。議案の取り下げは初めての出来事です。



えっ！ 4億3,780万円の 工事請負契約が随意契約？

議案第35号「羽生市清掃センター焼却施設 バグフィルター減温塔更新工事請負契約の締結について」が上程されました。(株)エスエヌ環境テクノロジーと工事請負契約を締結することについて議会に諮るための議案です。工事請負契約が競争入札ではなく、随意契約との説明がありました。4億円を超える工事請負契約が随意契約です。工事の予定価格や競争入札ではなく、随意契約の正

当性を質すための質疑を予定していましたが、同様の質疑を行う議員がいたため、私は質疑を行いました。議員の質疑に対し、経済環境部長が答弁を行いました。競争入札を検討することなく、始めから随意契約ありきの答弁でした。金額が金額です。経費削減の推進、過剰な随意契約は不正の温床となり兼ねない。との観点から議案に反対しました。(参考 賛成8 反対5)